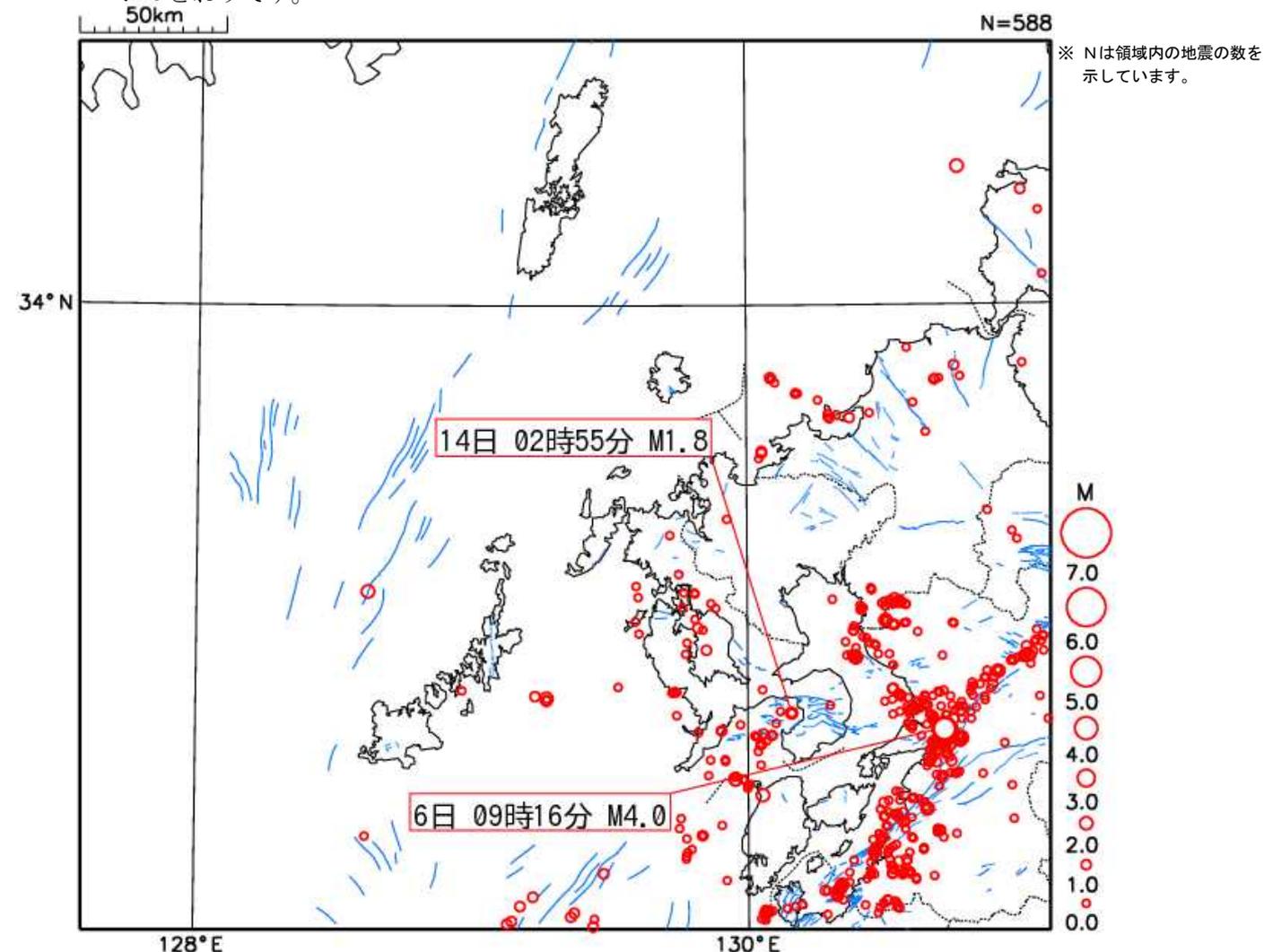


長崎県の地震活動概況 (2021年5月)

令和3年6月8日
長崎地方気象台

地震活動の概況 (2021年5月)

5月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は2回でした(4月:1回)。詳細は2~4ページのとおりでです。



震央分布図 (2021年5月1日~31日、深さ30km以浅、M≥0.0)



断面図 (2021年5月1日~31日、深さ30km以浅、M≥0.0)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

- ※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す(活断層のデータは新編日本の活断層による)。
- ※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究会(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- ※ 2020年4月18日から10月23日、2021年1月9日から3月7日、及び4月19日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、これらの前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化(増減)がみられることがあります。

熊本県熊本地方

6日09時16分に熊本県熊本地方で発生したM4.0の地震（深さ14km）により、熊本県で震度4を観測したほか、九州地方で震度3～1を観測しました。長崎県では、諫早市で震度2を、平戸市、長崎市、大村市、雲仙市、島原市及び南島原市で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震央付近（図2領域a）では、「平成28年（2016年）熊本地震」が発生しています。この領域では、2021年3月20日にM4.0の地震（深さ14km、最大震度3）が発生し、長崎県では、雲仙市、南島原市で震度2を観測しました（図2、3）。

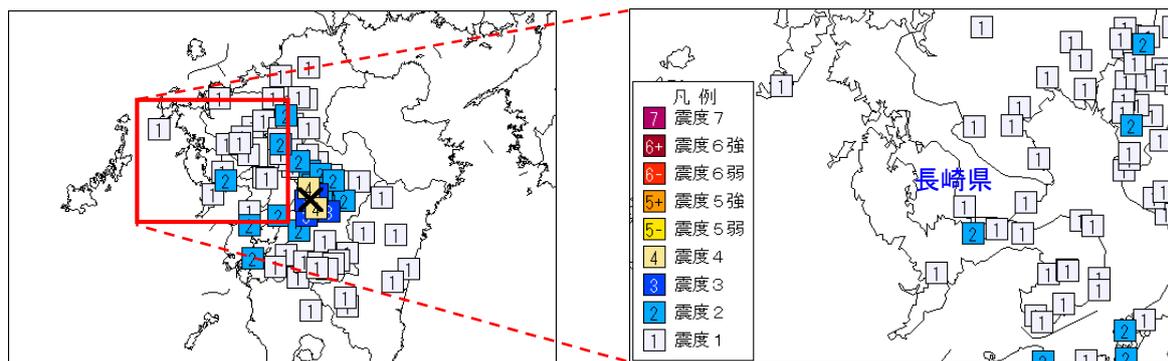


図1 震度分布図（左：市区村別、右：観測点別、×：震央）
5月6日 熊本県熊本地方 09時16分 M4.0

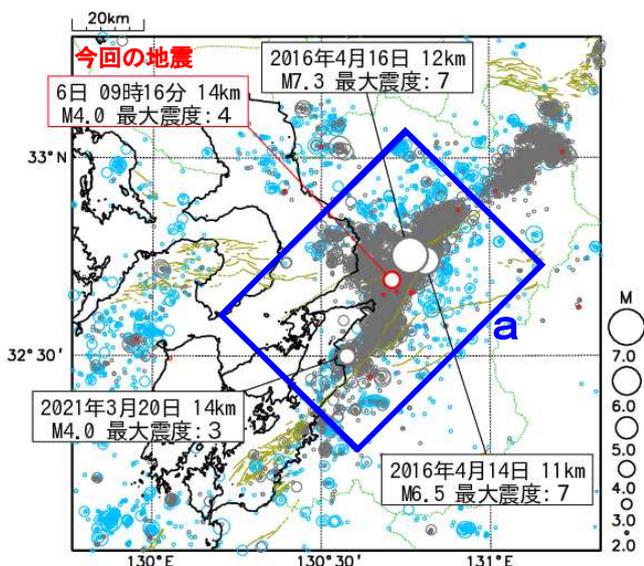


図2 震央分布図

(1997年10月1日～2021年5月31日 深さ0km～20km M \geq 2.0)

※2016年4月13日以前の地震を青色で、

2016年4月14日以降の地震を灰色で

2021年5月の地震を赤色で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

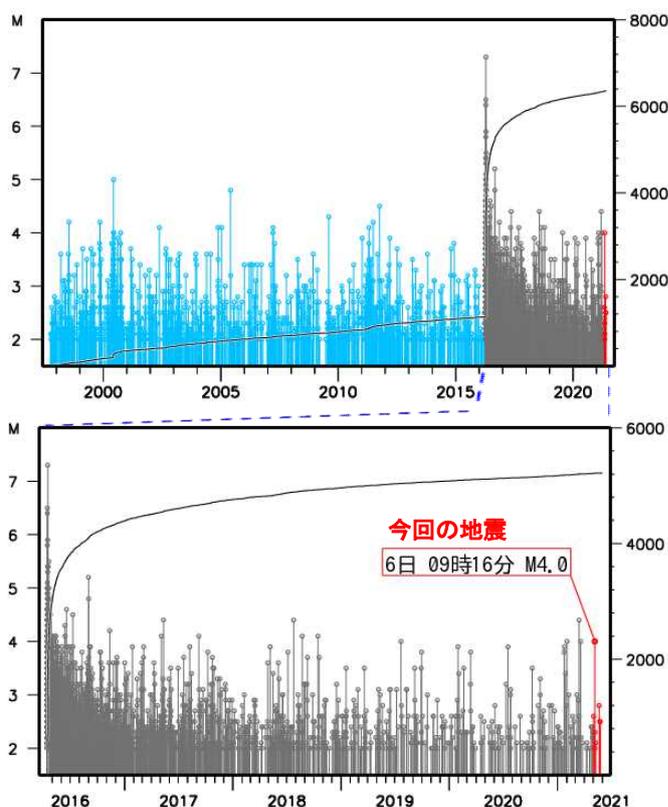


図3 図2領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

(上段：1997年10月1日～2021年5月31日、M \geq 2.0

下段：2016年4月14日～2021年5月31日、M \geq 2.0)

橘湾

14日02時55分に橘湾（情報発表に用いた震央地名は「長崎県島原半島」）で発生したM1.8の地震（深さ12km）により、長崎県では、雲仙市で震度1を観測しました（図4）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（図5領域b）は、M4.0を超える地震が2017年に2回発生している領域で、2017年4月19日にM4.2の地震（深さ16km）が発生し、長崎県では、長崎市、諫早市及び南島原市で震度3を観測しました（図5、図6）。また、2017年6月9日にM4.3の地震（深さ16km）が発生し、長崎県では、諫早市で震度4を観測しました（図5、図6）。



5月14日 02時55分 M1.8
図4 震度分布図（観測点別、×：震央）

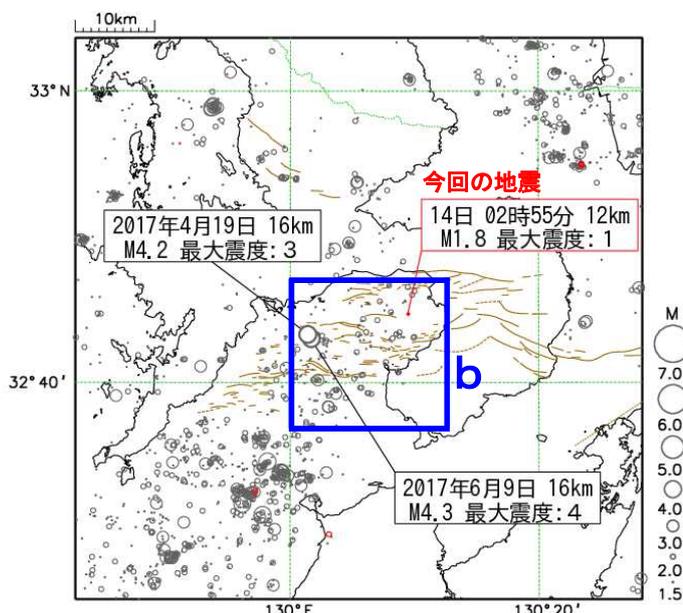


図5 震央分布図

（1997年10月1日～2021年5月31日 深さ0km～20km M \geq 1.5）
※2021年5月の地震を赤色、2021年4月30日以前の地震を灰色で表示。
※図中の茶色は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

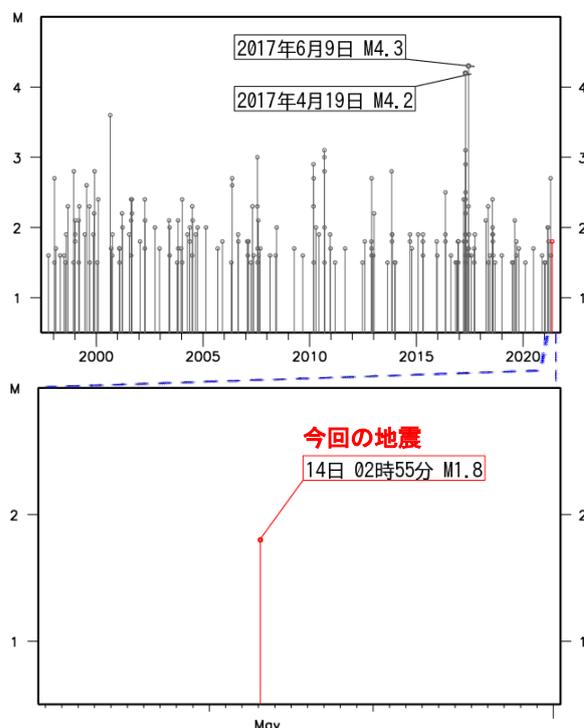


図6 図5領域b内の地震活動経過図

（上段：1997年10月1日～2021年5月31日、M \geq 1.5
下段：2021年5月1日～2021年5月31日、M \geq 1.5）

長崎県内で震度1以上を観測した地震の表（5月1日～31日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2021年05月06日09時16分 震度 2 : 諫早市多良見町* 震度 1 : 平戸市志々伎町*, 長崎市元町*, 諫早市東小路町, 諫早市堂崎町*, 諫早市森山町* 諫早市高来町*, 大村市玖島*, 島原市有明町*, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市雲仙出張所*, 雲仙市小浜町北本町*, 南島原市口之津町* 南島原市北有馬町*, 南島原市布津町*, 南島原市深江町*, 南島原市加津佐町*	熊本県熊本地方	32° 41.5' N	130° 42.5' E	14km	M4.0
2021年05月14日02時55分 震度 1 : 雲仙市小浜町雲仙	橘湾	32° 44.7' N	130° 09.5' E	12km	M1.8

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

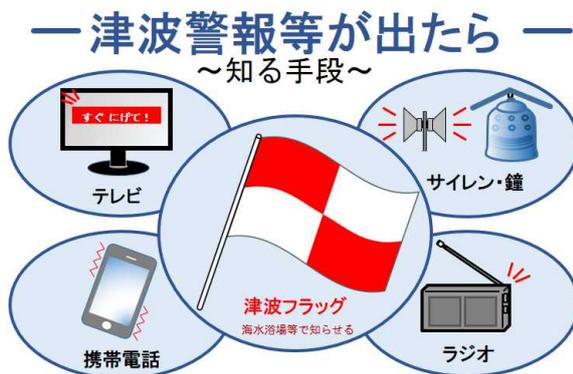
津波が来るぞ すぐ避難！ 「津波フラッグ」は避難の合図

海水浴場等で、「津波フラッグ」により津波警報等[※]が発表されたことをお知らせする取組が行われています。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年夏から海水浴場等で赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われるようになりました。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚障害者の方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。**海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけたら、速やかに避難を開始してください。**

「津波フラッグ」は、昨年夏に運用が開始されましたが、あまり知られてないのが実情です。最終的な目標は、「津波フラッグ」を見た際に、津波警報等が発表されていると誰もが認識し、直ちに避難する行動がとられるようになることです。そのために、まずは音が聞こえにくい状況である海水浴場で「津波フラッグ」による伝達が行われるように、自治体や海水浴場管理者のご理解・ご協力を得ながら、「津波フラッグ」の導入を進めるとともに、「津波フラッグ」を広く知っていただくために周知・広報活動を行います。

※ここでは大津波警報、津波警報、津波注意報を津波警報等としています。



【津波フラッグとは】

長方形を四分割した、赤と白の格子模様のデザインです。

海岸の避難施設で津波フラッグを振っているイメージ
 (公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)

注：旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

情報種類	津波注意報	津波警報	大津波警報		
定性表現	表記しない	高い	巨大		
予想される津波の高さ	1m (0.2m - 1m)	3m (1m - 3m)	5m (3m - 5m)	10m (5m - 10m)	10m超 (10m -)

津波は繰り返し襲ってきますので、津波警報等が解除されるまで安全な場所から離れないでください。